

## LPガスCP速報(2024年7月積)

### 1. 7月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **580**  $\text{ドル}$  (前月比± 0  $\text{ドル}$ )  
 ブタン **565**  $\text{ドル}$  (前月比± 0  $\text{ドル}$ )

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、中東市場は、不需要期入りも堅調な需要、サウジからの出荷は絞られたが、カタール、クウェートがスポット販売、サウジ石化の定修遅延で輸出増もあるか。喜望峰経由の米国産カーゴが7月に到着予定で供給は潤沢な見込み。中国石化需要がメンテナンス終了とマージン改善で増加、PDHの稼働率も上昇し、LPG需要を下支えした。LPガス市況は、原油市況に連れ高、極東CFR市況は、第1週に一時プロパンで600  $\text{ドル}$ を割り込むも、第3週にプロパン650  $\text{ドル}$ 、ブタン620  $\text{ドル}$ どころに上昇した。

米国市場は、プロパン供給、在庫が増加、在庫水準は5年平均レンジ内に収まっているが、上抜けそうな勢い(グラフ②参照)。需要は堅調、輸出は過去最高水準を(グラフ③参照)、維持している。米国の原油、NGL生産量は過去最高水準で推移、NGL分留装置、パイプラインも増設されLPガス供給は潤沢。モンベルビュープロパンスポット価格は原油市況、天然ガス市況に連れ高となり、第1週の350~370  $\text{ドル}$ から、第4週には430  $\text{ドル}$ まで上昇、月間平均で前月比33  $\text{ドル}$ 上昇の395  $\text{ドル}$ /トンどころ(グラフ①参照)となった。一方、原油・ガソリン市況に連れ安で軟化したブタン価格も第2週に反騰し、第3週で440  $\text{ドル}$ どころに上昇した。

フレート市況は軟化、第3週で中東~極東70  $\text{ドル}$ 、米国~極東市場は120  $\text{ドル}$ どころで推移した。パナマ運河ガツン湖の水位が回復、通峽枠も増加し、フレート市況を押し下げた。喜望峰経由での米国配船の船主が複数みられるが、米国スポット傭船需要は低迷、中東市場の出荷は堅調なもの、船舶需給にタイト感はない。

ナフサ市況は堅調、月間平均は前月比横這いの682  $\text{ドル}$ どころ。原油市況の軟化に伴い前半は650  $\text{ドル}$ どころで推移も、下旬には原油市況に連れ高700~725  $\text{ドル}$ まで上昇した。

バンカーオイルをみると、シンガポールIFO380は反落、月間平均で前月比6  $\text{ドル}$ 下落の520  $\text{ドル}$ どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は続落、前月比4  $\text{ドル}$ 下落の731  $\text{ドル}$ どころ、ガスオイルとC重油との格差は210  $\text{ドル}$ どころではほぼ変わらず。

7月CPは前年同月比プロパン180  $\text{ドル}$ 、ブタン190  $\text{ドル}$ のそれぞれ上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算(下記参照)では、前月に比べプロパン、ブタン0.5ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン20、ブタン22ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート(中東-日本)	80	60	70		
CP先物指標:P	565	570	585		
CP先物指標:B	550	555	565		

#### ② 原油市況等

6月の原油市況は、OPECプラスの自主減産縮小計画を受けて急落、75  $\text{ドル}$ 割れでスタートしたが、イスラエルのガザ地区ラファ中心部への侵攻、レバノンのヒズボラとの戦闘拡大懸念、イエメンフーシ派による商船攻撃、ウクライナによるロシア製油所への攻撃など。中東、東欧の地政学リスクの高まりにより急反騰した。需給面では、米国がドライブシーズン入り、需要増が期待されたが、中国経済動向の不透明感が強く、供給は潤沢、原油市況は一進一退、第3週以降は80~82  $\text{ドル}$ の狭いレンジ取引となった。一方、金融市場は、インフレ鈍化、年内利下げ観測が強まり、株価(S&P500)は最高値を連日更新、リスクオンの状態となった。原油先物市場は、プロンプトスプレッド(期近2限月)の逆ざやが縮小、需給逼迫感が薄れていたが、下旬以降に拡大、ブレントは1  $\text{ドル}$ を突破し需給タイトを示唆している。

○6月積みアラビアン・ライト(6月1~28日までの想定)は85.40  $\text{ドル}$ (前月比-0.56  $\text{ドル}$ )

熱量等価AL100% プロパン700.19  $\text{ドル}$ /トン ブタン690.59  $\text{ドル}$ /トン  
 AL比 プロパン82.83% ブタン81.81%

\*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

## 2. 2024年7月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CFR	B円建CFR	P前月比	B前月比
6月月間	158.89	98,900	100,000	2,200	-700

\* T T S平均等について、各社の適用為替レートが昨年4月仕切改定から月間平均に統一された。

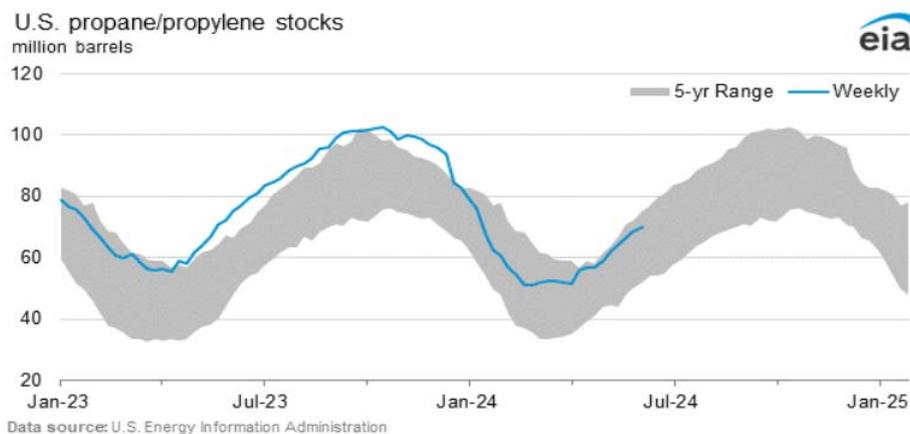
上記は6月1～30日までのT T S平均。CPは前月・当月50%案分。プロパンのMB合成比率はCP70%、MB30%で算定。CFRコストは中東・北米フレートを含むCFRコストを表示。CFRコストには北米の基地経費等も含まれ、各社で異なる。

なお、上記MBは6月27日までの価格を基にE I Nで試算（395ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

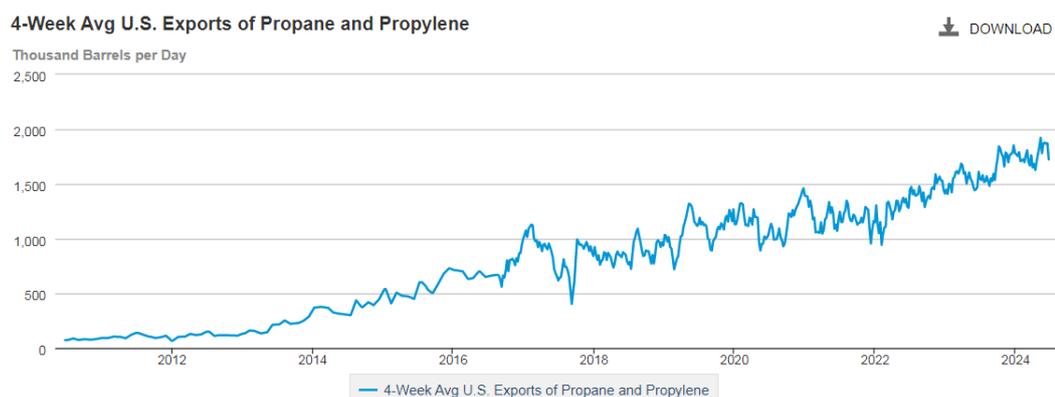
### ① 米国プロパンスポット価格推移



### ② 全米プロパン在庫推移



### ③ 米プロパン輸出货量推移



出典：EIA